

5月「1. Mai Feiertag」 アントニア・シュルト

1. ドイツを含めて5月1日は世界各地で「労働者の祭典」として祝われています。日本のメーデーと違って、ドイツには5月1日は祝日です。明治19年5月1日にアメリカのシカゴを中心に「8時間労働制要求」において起こった労働者の行進が起源となっています。



2. その当時のドイツでは1日12時間から14時間労働が当たり前でした。私自身、自分の限界を知るために敢えて、きつい登山をしたり、雨の日にあえて自転車通勤をしたりしていますが、それとは比較にならないくらいあのころの私の祖国の労働者は真面目で勤勉な人だったのだと思います。人はそれぞれの時代の流れに影響を受け、個というものが形成されているのだと思います。そのころからすると、苦勞を知らずに育ってきた私には真の意味で12時間労働の1日を想像できないことはおかしくないかもしれません。